

◆地球温暖化対策結果報告書 受付審査チェックシート（業務部門）

ID :

事業所名

事業者名

No1

平成22年 月 日

審査済印

ア 必要書類の確認シート

No.	書類名	項目	確認内容	自己審査結果	備考
I	電子データ	地球温暖化対策結果報告書のEXCELファイル	紙と合わせて電子データを提出して下さい。（軽微な修正等あればその場で直すことが可能です。）	☐ 電子データ有 ☐ 電子データ無 必須	電子データが無ければ軽微な修正でも再提出が必要になります。
I	点検表	①点検結果	平成21年度における点検結果として点検表を添付している。	☐ 添付 ☐ 後日提出予定	
		(120101) 空気比、排ガスの管理	当該事業所にボイラー又はガス焚冷温水器等の燃焼設備がある。 →ばい煙測定又は定期点検記録等を添付	☐ 該当設備なし ☐ 添付 ☐ 後日提出予定	重点項目（空－1）の確認資料
		(120202) 冷温水出口温度設定	当該事業所に冷凍機及び冷温水発生器がある。 →冷水出口温度設定表を添付（中間期と夏季等）	☐ 該当設備なし ☐ 添付 ☐ 後日提出予定	重点項目（空－2）の確認資料
		(130101) 設定温度・湿度の適正化	当該事業所の各室内温度及び湿度、CO2濃度測定結果等を添付（夏季、冬季、中間期の3シーズン）	☐ 添付 ☐ 後日提出予定	重点項目（空－3）及び（空－4）の確認資料
		②建築及び設備概要 計画書提出後、図面等が変更された場合に提出して下さい。	建築及び設備概要を整理した表（点検表の様式の1ページ目を用いて作成）などがある。	☐ 添付 ☐ 後日提出予定	様式は任意。
		建築概要	配置図、平面図等の建築概要が分かる資料を添付	☐ 添付 ☐ 後日提出予定	保安上提出できない場合は、都担当者に閲覧させて下さい。その場合は、その旨を記載した書面を事業者名若しくは統括マネージャー名で提出して下さい。
		電気設備概要	受変電設備単線結線図など配電系統が分かる資料を添付	☐ 添付 ☐ 後日提出予定	
		空調設備概要	①設備機器リスト、②配管系統図、③ダクト系統図、④熱源機器回りの平面図など空調設備の概要がわかる資料を添付	☐ 添付 ☐ 後日提出予定	
		③計画した基本対策（運用対策及び設備導入等対策）の実施及び完了を示す資料	①対策の実施及び完了を示すもの（しゅん工図、契約書、仕様書・カタログ等、写真、計測値等データ、点検記録等日報など）を添付 ②平成21年度までに実施することが適当でない基本対策があれば、理由書を添付	☐ 特になし ☐ ①添付 ☐ ②添付 ☐ 後日提出予定 ☐ 後日提出予定	※基本対策を「取りやめ」とする場合は、さらに、その見込量の妥当性を示す資料の提出が必要となる場合があります。
		III 根拠資料	削減量の根拠資料 ①推計実績削減量（目標対策） ②計画削減量（追加・修正した目標対策）	☐ 該当なし ☐ 添付 ☐ 後日提出予定 ☐ 排出状況報告書の添付資料で代替あり	完了した目標対策に係る推計実績削減量の根拠資料をこれまでに提出した排出状況報告書の添付資料等で代替する場合は、チェックして下さい。
	IV テナント結果報告書	テナント事業者等における削減対策に係る資料	対象要件に該当又は延床面積を50％以上占めるテナント事業者がある。 ⇒テナント事業者の地球温暖化対策結果報告書を添付	☐ 該当なし ☐ 添付 ☐ 後日提出予定	（その1）にテナント事業者が記入している場合に確認
	V その他	その他の必要な書類（※協議資料等）	①計画した基本対策を「取りやめ」「延期」する場合の理由書 ②計画した基本対策の内容を変更する場合の理由書 ③その他の必要な書類名（ ）	☐ 該当なし ☐ 添付 ☐ 後日提出予定	計画した基本対策を「取りやめ」とした場合には、「B」以下の評価となる可能性があります。

※ 「後日提出予定」の場合、後日提出予定の右側の四角い枠内に提出予定日を記入して下さい。結果報告書を窓口提出後、概ね1週間程度で提出するようお願いします。（別途、添付書類の提出に関する書面をお渡しします。）

イ 入力データ審査シート

シート名	項目	確認内容	自己審査結果		備考	
提出書	■提出者の住所、氏名 ■事業所の概要（事業所名称、所在地）	氏名、住所、名称等を正確に記載している。 代表者印を捺印している。	☐ 済	☐ 未	変更がある場合は窓口へ申し出て下さい。	
	■連絡先	提出書類の内容に関する都からの連絡先及び都からの通知等の受取先を記載している。 《重要》担当者名の記載が必要（複数名可）。	☐ 済	☐ 未	連絡先には、必ず住所や担当部署名を明記して下さい。都からの通知は、ここに記載された連絡先に行います。	
その1	■地球温暖化対策事業者等の氏名等 ■事業所の概要（事業所名称、所在地、事業の概要）	氏名、住所、名称等、概要等の正確な記載がある。	☐ 済	☐ 未	提出書記載の提出者名を記入して下さい。公表の対象となるので、提出者が代表者でない場合は、役職名までを記入し、個人名を記入しないで結構です。	
	■事業の業種	プルダウンメニューにより正しく選択。	☐ 済	☐ 未		
	■主たる用途	※部門分類（業務部門をチェック） 事業所用途（事務所、テナントビル）、商業施設、宿泊施設、教育施設、医療施設、文化施設又はその他のいずれかを選択。	《修正内容》		電算ビル（データセンター）は「事務所」扱い。その他は（ ）に具体的な用途名を記入。なお、研究所は「その他（研究所）」扱い。	
	□テナントビル等に該当	主たる用途：「事務所」であって、延床面積の50%以上を賃貸している場合にチェック 《よくある間違い》「商業施設」は該当しない。				
	□テナント事業者等の概要	1テナントで電気・熱等を原油に換算して年間1,500kL以上使用又は床面積の50%以上を使用しているテナントがある。	☐ 該当なし	☐ 済	☐ 未	該当の場合は、テナント結果報告書の添付が必要。
	■敷地面積、建物の延べ面積	平成21年度末の面積を、数字で入力している。	☐ 済	☐ 未		
■計画及び公表の担当部署	所属名称・電話番号が記入されている。 《check》⇒個人名の記載は不要。個人のメールは避ける。	☐ 済	☐ 未	電話番号は半角で記入して下さい。FAX、メールの記入は任意。		

シート名	項目		確認内容	確認結果	備考	
その2	■結果報告書の公表方法	■公表期間	開始日には、提出日以降の日付を記入している。終了日には、平成22年12月31日）以降の日付を記入している。	☐ 済☐ 未 《修正内容》	日付で入力。提出後速やかに公表を開始して下さい。	
		■公表方法	ホームページ、窓口で閲覧、冊子及びその他のいずれかをチェックし、具体的な方法を入力している。		いずれかの方法で公表することが必須。	
	■計画期間		計画開始年度を元号で入力している。	☐ 済☐ 未		
	■温室効果ガスの総排出量の状況		(自動計算)			
	■工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況（総括）等	■平成21年度の温室効果ガス排出量				
		■基準排出量及び平成21年度までの温室効果ガスの排出の量の推移	計画書（その4）の基準排出量及び、各年度に提出してきた排出状況報告書等の（その2）に記載している各年度の排出量を入力している。	☐ 済☐ 未	【重要】	
			《重要》 基準排出量と比較して平成21年度の排出量が増減した理由を検証し（添その1「ウ温室効果ガスの増減に影響を及ぼす要因分析」）に記入して下さい。	☐ 済☐ 未	【注意】排出量が増減した理由が明確でない場合、温室効果ガスの排出量の記入ミスか、負荷設備の不具合等も考えられます。再度確認してください。	
		■温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況	基本対策、目標対策の対策レベルごとの進捗よく状況についていづれかにチェックしている。	☐ 済☐ 未	結果報告書（その4）の進捗状況をよく把握しチェックして下さい。	
			目標対策の達成状況（自動計算）			
	基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率を記入		☐ 該当なし(目標対策相当なし) ☐ 済☐ 未	計画書（その4）の値を転記		
■自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況（総括）	※自動車等による燃料（ガソリン又は軽油）の使用量が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合には、必ず記入して下さい。		☐ 該当☐ 非該当	非該当の場合も、必ず進捗状況の「計画なし」にチェックして下さい。		
	□平成21年度の温室効果ガスの排出の量	(自動計算)				
	□基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移	計画書（その8）の基準排出量及び、各年度に提出してきた排出状況報告書等の（その3）に記載している各年度の排出量を入力している。	☐ 済☐ 未	該当する場合にのみ記入して下さい。		
	■温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況	自動車等に係る削減対策の進捗よく状況について、いづれかにチェックしている。	☐ 済☐ 未	非該当の場合は、必ず「計画なし」にチェックして下さい。		
	■温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等についての総括等	《重要》 公表の対象なので対外的にアピールするように工夫して書くことをお勧めします。	☐ 済☐ 未			
その4	■工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況（個表）	「更新」ボタンを押し、正しく表記	☐ 済☐ 未	その4の作成の詳細については、記入要領及びEXCELシートの右枠外の説明をご覧ください。		
		備考欄を正しく表記				
その5	□再生可能エネルギーの導入に係る措置	正しく記載	☐ 済☐ 未			
	□その他の取組	正しく記載				
その6	※自動車等によりガソリンと軽油の使用量の合計が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合に記入して下さい。		☐ 該当なし ☐ 該当(本シートの記入が必要)			
	□自動車等に係る削減の計画及び達成状況	正しく記載	☐ 済☐ 未			
	□自動車等に係るその他の事項	正しく記載				
その7	□事業所外で実施する措置		☐ 済☐ 未			
その8	■工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置のスケジュール及び実施状況（個表）	■対策の名称 ■対策のレベル ■対策のスケジュール ■計画時の削減効果見込み量	計画した削減対策の実施状況の報告 《重要》 平成21年度に提出した排出状況報告書の（その4、その5）と全く同じ内容を記入（コピー）して下さい。 原則、この項目は変更できません。ただし、対策の内容を変更する場合、備考欄にその旨を記入し、基本対策については理由書を、目標対策については、削減見込量の根拠資料を添付してください。	☐ 済☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	その8作業sheet（状況報告書その4用、その5用）を使って、排出状況報告書の内容を転記すると効率よく入力できます。詳しくは記入要領をご覧ください。	
		■平成21年度末における実施状況	平成21年度末における実施状況をプルダウンから選択し入力している。 また、「延期」または「取りやめ」とした場合に、その理由を記入している。 《重要》 基本対策を「取りやめ」た場合は、必ず理由書を添付して下さい。結果報告書を評価する際の資料として用いられます。			基本対策の変更 ☐ 該当あり ⇒ 理由書を添付、備考欄に変更した旨を記入して下さい。 ☐ 該当なし 目標対策の変更 ☐ 該当あり ⇒ 備考欄に変更した旨を記入、削減見込量の根拠資料を添付して下さい。 ☐ 該当なし 基本対策の「取りやめ」、「延期」 ☐ 該当なし ☐ 該当あり ⇒ 理由書を提出して下さい。
		■推計実績削減量	平成21年度末（平成22年3月31日）において完了している対策（実施途中も含む）による削減効果の量をCO2換算で記入している。 《重要》 目標対策に係る推計実績削減量を計上する場合には、根拠資料の添付が必要です。			推計実績削減量（目標対策）の根拠資料 ☐ 該当なし ☐ 該当あり ⇒ 根拠資料を添付して下さい。
					基本対策の「取りやめ」等により、結果報告書の評価が「B」以下となる可能性があります。	
					その2で基準排出量を記入すると推計実績削減率が自動的に表記されます。 目標対策は根拠資料の添付が必須です。	

シート名	項目		確認内容	確認結果	備考
その9	■地球温暖化の対策の推進体制等に関する事項	■基本方針	正しく記載 (別紙がある場合は、電子データが必要)	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	このスペースに記入しきれない場合は、別紙を添付して下さい。
		■推進体制	正しく記載 (別紙がある場合は、電子データが必要)	☐ 別紙あり	
その10	■統括マネージャー	■氏名、部署名、連絡先	正しく記載	☐ 済 ☐ 未	メールアドレスは任意。
		■講習会修了者番号	受講者は8桁の数字を入力。	《修正内容》	統括マネージャは必須。 平成21年度時点の統括マネージャーについて、お示しください。
		■受講日	《よくある間違い》 ⇒「第○○○○○○○○○号」ではなく、「○○○○○○○○○」の数字を半角入力。		
	□テクニカルアドバイザー	■選任方法	選任した場合のみ、内部で選任、又は外部委託のいずれかをチェック	☐ 選任 ☐ 未選任	テクニカルアドバイザーの選任は努力義務。
		■氏名、部署名、連絡先	正しく記載	☐ 済 ☐ 未	選任した場合のみ記載。
		■資格要件の名称 ■取得年月日	「1級建築士」「技術士」「エネルギー管理士」「建築設備士」のいずれかを記載	《修正内容》	選任した場合のみ記載。
		■講習会修了者番号	受講者は8桁の数字を入力。		選任した場合のみ記載。
		■受講日	《よくある間違い》 ⇒「第○○○○○○○○○号」ではなく、「○○○○○○○○○」の数字を半角入力。		
	□都の登録事業者	■登録番号	「EB-(○○○○○○○)」を入力。登録事業者固有の番号(○○○○○○○)である。	☐ 修正済	テクニカルアドバイザーが外部であって、都の登録を受けている場合のみ入力。
		■登録日	日付入力		
その11	□テナント事業者等	■名称、推進員等の氏名、部署名、連絡先 (その11)も共通	推進員等の氏名、部署、連絡先を入力。 正しく記載	☐ 済 ☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	(その1)に記載した事業者は、必須入力。
	■添付書類	■温室効果ガス排出量集計結果(平成21年度分)	結果報告書EXCELの添付資料に平成21年度分を記入して下さい。	☐ 済 ☐ 未	テナントのエネルギー使用量が正確に分からない場合は、テナント事業所の結果報告書の(添その4-1)から(添その4-6)は提出しなくても結構です。
		■点検表	本チェックシート1枚目の必要書類確認シートと整合を図る。「別紙()」に正しく記載。	☐ 済 ☐ 未	
		□削減量の根拠資料	《point》 ⇒目標対策の削減量の根拠資料は必須。 ⇒対象規模要件(電気・熱等を原油に換算して年間1,500kL)以上又は床面積の50%以上を使用するテナントは必須。	《修正内容》 ☐ 修正済	
		□テナント事業者等における削減対策に係る資料			
□その他					
添その1	■事業活動等の報告(平成21年度)	■事業所の規模(従業員数、年間来客数)	従業員数(事業所内の総人員数(概数))や年間来客数には、平成21年度末時点の人数を入力。	☐ 済 ☐ 未 《修正内容》	
		□主な製造製品等(主な製品名、生産量)	エネルギーの使用量に密接に関係する製品等の生産量を入力。(主に産業部門が対象)		
		□建物の稼動状況等(営業時間)	事業所の営業時間(平均的な時間)を入力。 ※平日と休日を分けてもよい。		
□テナントビルの場合(空室率、貸出面積)		平成21年度末時点の状況を入力。			
□データセンターの場合(面積、電気使用量)		データセンター(電算センター)として使用している床面積の合計を面積欄に「数値」で入力			
	■温室効果ガスの増減に影響を及ぼす要因分析	平成21年度中の事業活動の変動や対策の実施など、大きな温室効果ガスの排出量の増減があった場合に、その事業活動の変動内容を記入。		☐ 修正済	
添その2	※自動車等による燃料(ガソリン又は軽油)の使用量が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合には、添その2を記入してください。		☐ 該当なし ☐ 該当(本シートの記入が必要)		航空事業者、鉄道事業者、海運事業者は作成が必要です。
	□自動車等による事業活動(平成21年度) ・自動車、航空機、鉄道、船舶	正確に記入している。		☐ 済 ☐ 未	
添その3	■温室効果ガス排出量集計結果(平成21年度)	(自動計算)			

(注:項目の凡例 ■:必須、□:選択(該当者のみ)

(次へ)

シート名	項目		確認内容	確認結果	備考
添その4-1	■温室効果ガスの排出の量の内訳等	■工場・事業場における二酸化炭素の排出に係る燃料、熱及び電気の使用量	平成21年度の電気、燃料及び熱の種類ごとに使用量の実績を正確に記入している。 《重要》 特に有効桁数の少ないものは、分かる範囲で小数点以下も記入して下さい。	☐ 済 ☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	電気及び都市ガス（13A：45.0MJ／m ³ ）、蒸気等熱の使用量は、添その4-3（月別使用量）を入力すると値が表示されます。 都市ガス（13A）の単位は「千m ³ 」ですが、添付4-3は「m ³ 」なので桁違いに注意して下さい。
		■水道等の使用量	（自動計算）		
添その4-2	■工場・事業場におけるその他の活動による温室効果ガスの排出量 □自動車等による温室効果ガスの排出量 ■温室効果ガスの排出量の合計				（自動計算）
添その4-3	■工場、事業場における温室効果ガスの排出の量の内訳	■電気の使用量	計画書と同様の分類で、平成21年度の電気の月別使用量実績を正確に記入している。	☐ 済 ☐ 未 《修正内容》 ☐ 修正済	自動検針の場合は、電力会社から、30分単位のデマンドデータ入手すると実績が把握できます。
		□燃料及び熱の使用量	平成21年度の都市ガス（13A）、A重油等の月別使用量について実績を正確に記入している。 使用量が特に少ない若しくは月別使用量が分からない時は、1年分をまとめて「3月」に記入し、備考欄にその旨を記載して下さい。		「kL（キロリットル）」と「L（リットル）」の間違いが多いので注意して下さい。
		□その他の燃料等の使用量	平成21年度の地域冷暖房等により受け入れた月別使用量について実績を正確に記入している。		蒸気使用量の間違いが多いので注意して下さい。
		■水道等の使用量	平成21年度の上水道（工業用水も含む。）及び公共下水道への排水について、月別の使用量の実績を正確に記入している。 なお、隔月の場合は、2ヶ月まとめた使用量として、当該月に記入している。 自己処理した下水及びクーリングタワー等減免分は下水から除きます。		井戸水、雨水、自家製造の中水及び下水再生水の利用は上水から除きます。その他の他者から受け入れている用水はすべて上水に含めて記入して下さい。
添その4-4	※※その他ガス（CH ₃ やN ₂ O、HFCなど）の使用量がCO ₂ 換算で年間10t以上の場合には、必ず添その4-4を記入して下さい。		☐ 該当なし ☐ 該当（本シートの記入が必要）	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	非常用発電機等で使用量が著しく少ないものは記入しなくても構いません。
	□工場・事業場におけるその他の活動による温室効果ガスの排出量		平成21年度の実績を正確に記入している。		
添その4-5	※自動車等による燃料（ガソリン又は軽油）の使用量が概ね年間4kL以上、又は運輸業に該当する場合には、必ず添その4-5を記入して下さい。		☐ 該当なし ☐ 該当（本シートの記入が必要）	☐ 済 ☐ 未	添その2に合わせて下さい。 イ）電気の使用量は、電気自動車の使用に伴う電気使用量です。
	□自動車等の活動による温室効果ガスの排出の内訳		平成21年度の実績を正確に記入している。		
添その4-6	※自動車等による走行（ガソリン又は軽油）距離が概ね年間100万km以上、又は運輸業に該当する場合には、必ず添その4-6を記入して下さい。		☐ 該当なし ☐ 該当（本シートの記入が必要）	☐ 済 ☐ 未 ☐ 修正済	
	□自動車等の活動によるその他の温室効果ガスの排出		平成21年度の実績を正確に記入している。		

（注：項目の凡例 ■：必須、□：選択（該当者のみ）

※1【都からの連絡事項】

次の事項について審査の結果、後日、問い合わせることがあります。

☐ 基本対策の実施状況が確認できない場合（結果報告書がB評価以下となる可能性あり）

☐ 基本対策の「取りやめ」の理由及び対策の内容変更が妥当と認められない場合

☐ 削減量の根拠資料について

※2【結果報告書全般 連絡事項】

※印の欄には、記入しないこと。

※指摘事項については、早めの対応をお願いします。